

## 【家族月間】

月日の経つのは早いもので、今年は、本日を持ちまして、最終例会となります。また、先週行いました「年末家族会」では、川戸親睦・活動委員長の下、親睦委員会の皆様には、大変お世話になり、有難う御座いました。お陰様で楽しいひと時を過ごす事が出来ました。重ねて、厚く御礼申し上げます。

また、12/15 に行なわれました「宇部市街頭美化清掃」に付きましても、千葉社会奉仕委員長を初め、ご参加頂きました多くの会員、ご家族の皆様お疲れ様でした。有難う御座いました。

さて、今月は「家族月間」でご座います。

ロータリーで言う、家族とは、個人的家族のみならず、ロータリーに関連する、あらゆるグループ、個人などを含めて、共にロータリーを考え、そして実践しようとする大きな絆のことを意味します。

・国際ロータリー1995-96 年度ハーバート・ブラウン会長は、RI 理事会で、2 月第 3 週（のちに第 2 週）を家族と地域社会週間（のちに家族週間）と指定。

「家族の平和が地域の平和に、それが国家の平和につながるから、健全な家庭を再認識して下さい」

・1997-98 年度グレン・キンロス会長は「私たちは世界理解と平和を究極の目的として、その進むべき未来と運命の道筋を描いてきました。これこそ、全世界のロータリアンをロータリー家族としてつなぐ唯一の理念です」

・2002-03 年度ビチャイ・ラタクル会長は「家族は地域社会を築く一つの積み木である。家族の絆を強化するためにはロータリアンが尽力すべし。家族の絆が強まれば地域社会も強化される」

が、ここで、変化が起こります！

・2003-04 年度ジョナサン・マジャベ会長は「ロータリー家族を RI 会長強調事項に挙げ、12 月を「家族月間」と指定。（この時点で 2 月の家族週間は廃止）

ロータリアン家族、すなわち、配偶者、お子様、お孫さん、物故会員の配偶者の方々を主対象としながら、ロータリーに関わる全ての人々を対象とした。」

・2004-05 年度グレン・エステス会長は「前年度会長強調事項を引継ぎ、財団学友、GSE、IAC、RAC、青少年交換、RYRA、RCC などを含む具体的対象を示

した。「ロータリー家族への心遣いの奨励」を強調。

・以後、2013-14 年度ロン D・バートン本年度会長まで「ロータリー家族」は会長強調事項の一つとして継続しております。

そして、それぞれの、RI 会長はその年のテーマで、人類はひとつの家族です。全ての人間、全ての国民を含むひとつの家族です。全家族の平和と幸福がなければ、個人の平和と幸福はあり得ません。…と、思いを巡らせておられます。どうか、皆様方も、人と人との絆を刻むのは、個々の家族でご座います。親、兄弟、子供達、このファミリーの支えがあってこそ、生きていけると思います。そして、人は、一人では生きていけないことを学び、ロータリーの、家族愛・隣人愛・人類愛がなければ、個人の幸福は有りません。

今一度、「ロータリー家族月間」に思いをはせ、家族にカンパイ・感謝したい12月になればと思います。

最後になりますが、来る年が皆様とご家族にとって素晴らしくも、良き年になります様祈念申し上げます。本日も素敵なローターライフをお楽しみ下さいませ。皆様お願い申し上げます、会長の時間とさせていただきます。